

# 令和3年度事業報告

## I はじめに

新型コロナウイルス感染症の流行は、感染者数の増減を繰り返し、未だ収束の見通しが立たない状況となっています。令和3年度についても、引き続き様々な活動の自粛や中止を余儀なくされ、当センターにおいても、会員及び関係者の安全確保と感染拡大防止に努めるため「シルバーはむらふれあい祭り」の開催断念や講習会等の延期及び中止、加えて、各地域班で実施する会員同士の親睦等の班活動の自粛等大きな影響を受けたところであります。

このような中で取り組んできた令和3年度の主な事業の結果ですが、まず、会員数については、企業等における定年延長やコロナ禍の影響により、新規入会者数が減少するとともに、病気や加齢等による退会者も一定数いたことから、令和4年3月末現在599名で、前年度と比較して24名の減となりました。

受託事業（請負）では、受託件数が4,127件と前年度比で1.1%増となり、契約金額は、前年度比3.0%増の210,402千円となりました。契約金額が大幅に増加した要因については、羽村市より令和3年5月から「新型コロナウイルスワクチン集団接種会場駐車場整理」を受託したことなどがあげられます。公民比については、公共が43%、民間が57%となり、前年度比で公共が1.8ポイント増となりました。就業実人員は、前年度比0.4%減の472人、就業率は、78.8%となりました。

一方、派遣事業については、受託件数は5件、契約金額では、前年度比0.6%増の34,870千円、就業実人員は、前年度比5名増の39人となりました。

計画した事業については、感染防止対策を講じた上で、会員の資質向上や技術を高めるための各種研修会、講習会の実施、会員が使用するセンター車両を安全装置搭載車両へ更新する等、安全・適正就業の推進等に取り組みました。

さらに、地域貢献事業として、市内清掃ボランティア活動、小学校通学児童見守りボランティア活動などに取り組みました。

このほか、会員増強の取り組みとして、「入会募集」ステッカーを植木班等の車両に貼り付けたほか、「1人1会員入会運動」や「会員募集チラシ」の全戸配布、センターホームページを新たにスマホ画面对応にレイアウトを加えるなどPRに努めました。

また、センター独自事業の「スマートフォン教室」開講を目指し、デジタル活用支援推進事業（国庫補助事業）を活用した「初心者向けスマートフォン教室」を10月から12月にかけて実施したほか、会員資格等一覧を基に各会員の就業意向確認及びその就業意向に対するセンターの対策を検討する等就業機会の確保にも取り組みました。

以上、令和3年度の事業実施結果の概要といたしますが、事業計画で定めた個々の事業実施結果については、次ページ以降のとおりといたします。

令和4年5月

公益社団法人  
羽村市シルバー人材センター  
会長 船木 信雄

## Ⅱ 事業実績

### 1 会員の異動状況

| 令和3年度         |               | 令和4年3月末<br>会 員 数           | 前 年 度 比                          |
|---------------|---------------|----------------------------|----------------------------------|
| 入会者           | 退会者           | 599 人<br>(男 389 人 女 210 人) | △24 人 (△3.9%)<br>(男△11 人 女△13 人) |
| 51 人          | 75 人          |                            |                                  |
| 男 33 人 女 18 人 | 男 44 人 女 31 人 |                            |                                  |

### 2 事業実績

#### (1) 受託事業 (請負)

| 項 目     | 実 績                                 | 前 年 度 比           |
|---------|-------------------------------------|-------------------|
| 受 託 件 数 | 4,127 件<br>(公共 541 件 民間 3,586 件)    | 43 件 1.1%         |
| 契 約 金   | 210,401,795 円                       | 6,142,914 円 3.0%  |
|         | 公共 90,423,635 円<br>民間 119,978,160 円 |                   |
| 配 分 金   | 193,626,689 円                       | 6,613,058 円 3.5%  |
| 就業延実人員  | 15,857 人                            | △93 人 △0.6%       |
| 就業延日人員  | 63,854 人                            | 1,985 人 3.2%      |
| 公 民 比   | 43.0 : 57.0                         | 公共 1.8pt 民間△1.8pt |
| 就業実人員   | 472 人                               | △2 人 △0.4%        |
| 就 業 率   | 78.8%                               | 2.7 ポイント          |

#### (2) 労働者派遣事業

| 項 目     | 実 績                               | 前 年 度 比           |
|---------|-----------------------------------|-------------------|
| 受 託 件 数 | 5 件<br>(公共 2 件 民間 3 件)            | 0 件 0.0%          |
| 契 約 金   | 34,870,005 円                      | 202,981 円 0.6%    |
|         | 公共 27,087,535 円<br>民間 7,782,470 円 |                   |
| 賃 金     | 27,123,015 円                      | 803,134 円 3.1%    |
| 就業延実人員  | 388 人                             | 4 人 1.0%          |
| 就業延日人員  | 4,178 人                           | 79 人 1.9%         |
| 公 民 比   | 77.7 : 22.3                       | 公共 0.2pt 民間△0.2pt |
| 就業実人員   | 39 人                              | 5 人 14.7%         |
| 就 業 率   | 6.5%                              | 1.0 ポイント          |

### Ⅲ 事業の実施状況

※事業名欄

(新規)：中期計画に掲げた事業で、3年度に新たに記載した事業

(追加)：中期計画に掲載はなく、3年度に新たに追加した事業

(再掲)：それ以前に掲載されている事業

#### 1 会員の増強

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し会員増強に努めました。

##### (1) センターPRの強化

「シルバーだよりはむら」などの広報やホームページによるPR、会員の口コミによるPR等を推進しました。

| 事業名  | 実施結果  | 備考   |
|--|---|--|
| ① マイナスイメージからの転換を図ったPR（イメージ戦略）<br>【広報部会】    | シルバーだよりはむらや事務局だより、ホームページ等で、ボランティア活動、各種教室、各種講習会、サークル活動等、仕事以外の活動についてPRを行った。   | 仕事以外の活動を含めピックアップしてPRすることで、イメージの転換を図り、会員数の増強を図った。   |
| ② 女性をターゲットにしたPR<br>【女性部会】                  | シルバーだよりはむら（8月号）で「家事援助サービス」「手芸品紹介」「女性会員募集」の記事を掲載した。  | シルバー女性会員の魅力度を一般市民へ浸透させ、シルバーの認知度をより高め、女性会員数の増強を図った。 |
| ③ 『シルバーだよりはむら』の発行、会員募集チラシのポスティング<br>【広報部会】 | 『シルバーだよりはむら』<br>会員・発注者向け…5月、10月（40周年記念号）<br>市内全戸配布…8月、1月<br>『会員・仕事募集チラシ』<br>全戸配布…3月   | 会員及び市民に配布し、会員への情報の提供やシルバー人材センター事業の活動状況を広く周知した。     |
| ④ 新規会員獲得のための継続的な活動<br>【総務部会】               | 新規入会キャンペーンとして、令和3年9月～12月まで「一人一会員入会運動」を実施した。入会者2名<br>また、新規会員獲得のための新たな方策として、シルバーだより1/1号に、健康維持や社会参加などの入会することで得られるメリットを特集した記事を掲載した。 | 会員数の増強を図った。  |
| ⑤ Web入会の推進<br>【広報部会】                       | シルバーだよりはむら、ホームページ、会員募集及び仕事募集チラシでPRを行った。<br>申込数11件 入会者9名   | ホームページからの入会を推進し、会員数の増強を図った。                        |

| 事業名   | 実施結果   | 備考   |
|---|--|--|
| ⑥ ハローワークとの連携<br>【就業開拓委員会】                     | ハローワークを訪問し、シニア世代の求職状況等について、情報交換を行った。   | 今後、必要に応じて情報交換を行うこととした。                                       |
| ⑦ 市高齢者施策を通じた PR の依頼（市広報等への掲載依頼）<br>【広報部会】     | 市広報等に入会説明会や各種講習会及び各種教室のお知らせを掲載した。（掲載延回数 24 回）<br>羽村駅・小作駅に「会員・仕事募集チラシ」を掲示した。  | シルバー人材センター事業の PR を行った。                                       |
| ⑧ センター車両を活用した PR<br>【総務部会】【広報部会】              | 「入会募集」・「お仕事募集」のカットニングシートを植木班等の車両に貼り付けを行った。                                   | 市民のシルバーへの認知度を上げ、会員増強に繋げた。                                    |
| ⑨ 「シルバーはむらふれあい祭り」の実施<br>【総務部会】                | 実施なし   | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。                                    |
| ⑩ 東京しごと財団が行う「広報活動強調月間」に併せた PR 活動の実施<br>【広報部会】 | ・市内清掃ボランティア<br>10月20日実施<br>参加者 135 名<br>・シルバー人材センター写真展<br>展出展（10月、東京しごとセンター） | 『羽村市シルバー人材センター』の認知度を高め、会員増強に繋がりました。                          |
| ⑪ 市などが主催するイベント等への参加<br>【広報部会】                 | 実施なし   | チューリップ祭りの開催中止及び産業祭の市内分散型開催に伴い、参加はなかった。                       |
| ⑫ 女性会員交流会の実施<br>【女性部会】                        | 実施なし   | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。                                    |
| ⑬ 手芸講習会（手芸班）<br>【手芸班】                         | 「福虎と開運金俵」作り<br>11月18日開催 参加者 5 名  | 手芸講習会の開催を通じて、手芸品販売促進と手芸班会員の増強を図った。                           |
| ⑭ ふれあい体験講座<br>【女性部会】                          | 実施なし   | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。                                    |
| ⑮ 健康推進事業の推進<br>【女性部会】                         | 毎週火曜日<br>35 回実施 参加者延 305 名<br>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5 月は中止とした。                 | フレイル（虚弱）予防を推進し、健康寿命の延伸を図った。<br>※フレイル（虚弱）とは、健常から要介護へ移行する中間の段階 |

(2) 入会説明会の充実

| 事業名                      | 実施結果  | 備考                          |
|--------------------------|---|-----------------------------|
| ① Web入会の推進<br>【広報部会】(再掲) | シルバーだよりはむら、ホームページ、会員募集及び仕事募集チラシでPRを行った。<br>申込数 11件 入会者 9名                   | ホームページからの入会を推進し、会員数の増強を図った。 |
| ② 入会説明会の充実<br>【事業部会】     | 毎月1回15日(基準日)実施<br>出席者 65名<br>入会者 51名<br>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月・9月・2月は中止とした。 | 入会の促進を図った。                  |

(3) 就業相談の充実

| 事業名                                     | 実施結果  | 備考                  |
|---|---|---------------------|
| ① HPでのタイムリーな就業情報の提供<br>【事務局】            | 会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載したほか、新入会員研修会で、「Smile to Smile」の紹介と登録推進を働きかけた。  | タイムリーな就業情報の提供を推進した。 |
| ② 会員のメールアドレスに就業情報を送信するシステムの活用<br>【広報部会】 | 会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載し、未就業会員の解消に努めた。  | 登録者数 112名           |
| ③ 就業相談の充実<br>【事務局】                      | 毎月1回1日(理事会の翌日)実施<br>相談者 10名<br>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月・5月・7月・8月・9月は理事の対応を中止し、職員による随時対応とした。<br>※就業相談については、令和3年9月より職員が対応することとした。 | 「事務局だより」に開催日時を掲載した。 |

(4) 様々な分野の仕事の開拓

| 事業名                   | 実施結果  | 備考  |
|-----------------------|---|---|
| 資格等一覧の作成<br>【就業開拓委員会】 | 資格等一覧を基に各会員の就業意向の確認及びその就業意向に対するセンターの対応案の一覧表を作成した。 | 一覧表に基づき会員の就業意向に沿った求人情報をハローワークインターネットサービスにより検索したが、会員の就業意向に叶う求人情報が無く、就業に繋がられなかった。 |

(5) 会員の退会防止に向けた取組み

| 事業名                                     | 実施結果   | 備考  |
|---|--|---|
| ① 新たな就業メニューの検討<br>【総務部会】                | 未就業会員の就業希望把握のため、未就業会員意向調査書の調査結果を分析した結果、既存職種以外の回答はなかったことから、引き続き検討を行っていく。        | より多くの未就業会員の就業希望把握のため、未就業会員意向調査書に返信用封筒を同封し、12月に調査対象会員へ送付した。  |
| ② サークル活動の支援（新設を含む。）<br>【総務部会】           | サークル活動について、入会説明会の際に、サークル紹介及びPRを行った。  | サークル活動の支援を行い、会員増強及び退会防止を図った。                                |
| ③ ボランティア活動メニューの増加<br>【総務部会】             | 未就業会員意向調査書の調査結果を踏まえ検討を行ったが、ボランティア活動に対する希望や回答はごく僅かであったこと等から、活動メニューの増加は見送ることとした。 | 調査結果を踏まえ、既存の市内清掃ボランティアと見守りボランティアの活動推進を図り、会員増強及び退会防止を推進していく。 |
| ④ 退会せずに在籍できる会費負担の少ない制度の検討（新規）<br>【総務部会】 | センターへ就業を目的として入会している会員に対し、年会費を減額することが、直接的な退会防止に繋がるとは考えにくい等の理由から検討を終了した。         |   |

(6) 福祉・家事援助、育児支援分野の仕事の開拓

| 事業名   | 実施結果   | 備考  |
|---|--|---|
| ① 会員コーディネーターの設置及び増員<br>【事務局】                  | 3名体制を継続し設置した。  | 福祉・家事援助サービス事業の推進を図った。                         |
| ② 家事援助班活動の推進<br>【事業部会】                        | 実施なし   | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。                     |
| ③ 羽村市介護予防・日常生活支援総合事業（家事サポートサービス）の推進<br>【事業部会】 | 「家事サポーター養成研修」（羽村市主催）の受講者募集記事を事務局だより12月号に掲載し、会員4名が受講した。                     | 生活支援サービス就業会員の育成を図り、サービス提供事業者として、円滑な事業の推進に努めた。 |
| ④ 家事援助班会員交流会の実施<br>【事業部会】                     | 実施なし   | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。                     |
| ⑤ 地域包括支援センター、民生児童委員との連携<br>【就業開拓委員会】          | 地域包括支援センターへ訪問（10月15日）、民生児童委員会（10月20日）開催時に伺い、リーフレットを活用し、家事援助サービス事業のPRを実施した。 | 家事援助サービス事業のPRを行った。                            |

| 事業名                     | 実施結果                                     | 備考                         |
|-------------------------|--|----------------------------|
| ⑥ 家事援助就業会員の増強<br>【事業部会】 | シルバーだよりはむら(8月号全戸配布)に、家事援助就業会員募集の記事を掲載した。 | 家事援助サービスの事業量に応じた会員の確保に努めた。 |

## 2 事業実績の拡大

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し就業の拡大や開拓に努めました。

### (1) 就業開拓

福祉・家事援助、子育て支援分野の仕事の開拓、高齢者にふさわしい仕事の確保、ホワイトカラー層からの希望の多い事務系職種の就業拡大・開拓を行いました。

| 事業名   | 実施結果   | 備考                             |
|---|--|--------------------------------|
| ① 就業開拓員の配置<br>【就業開拓委員会】                       | 就業開拓員 1 名を事務局に配置した。  |                                |
| ② 会員による一人一就業開拓運動<br>【就業開拓委員会】                 | 全会員に周知し実施した。(10月)実績0件  | 受注拡大を図るため、期間を設けず、年間を通じての実施とした。 |
| ③ 就業開拓委員会の開催                                  | 8月11日、11月8日、1月19日開催  |                                |
| ④ 既受注先への受注依頼及び新規受注先の開拓<br>【就業開拓委員会】           | 随時、職員による既受注先訪問を行った。  | 既存請負業務等の拡大及び新規受注獲得のPR活動を行った。   |
| ⑤ PR チラシの配布、ポスティング<br>【広報部会】<br>【就業開拓委員会】     | 手芸品作製活動記事をシルバーだよりはむら(全戸配布8月号)に掲載したほか、『会員・仕事募集チラシ』を全戸配布した。(3月)                              | 「シルバー」の認知度を上げ、新規受注の獲得を図った。     |
| ⑥ 地域に密着した家事援助、子育て支援、介護支援分野の仕事の開拓<br>【就業開拓委員会】 | 地域包括支援センターへ訪問(10月15日)、民生児童委員会(10月20日)、友愛訪問員会議(10月22日)開催時に伺い、リーフレットを活用し、家事援助サービス事業のPRを実施した。 | 「シルバー」の認知度を上げ、新規受注の獲得を図った。     |

| 事業名   | 実施結果  | 備考                                     |
|---|---|--|
| ⑦ 人手不足分野（配送仕分け、保育補助、スーパー品出しなど）の派遣事業の就業開拓<br>【就業開拓委員会】 | 会員状況調査において、人手不足分野（配送仕分け、保育補助、スーパー品出し等）へ就業意向のある会員はいなかったことから、今後就業意向があった場合は、随時対応することとした。                                 | 人手不足分野の就業拡大を目指すための情報収集に努めた。            |
| ⑧ 会員から希望の多い職種の就業開拓<br>【就業開拓委員会】                       | 総務部会が実施した「未就業会員等意向調査」の集計結果を参考に、会員の意向に沿った就業情報を提供することとした。   |  |
| ⑨ 新規受注先の就業開拓（追加）<br>【就業開拓委員会】                         | 【羽村高齢者クラブ連合会】<br>実施なし<br>【保育園】<br>量販店で取り扱いが少ない「布団カバー」の作成PRチラシを玉水保育園に配布し、2件の受注があった。<br>【空き家管理サービス】<br>近隣他センターの状況を調査した。 |  |
| ⑩ 「Web受注システム」のPRの推進<br>【広報部会】                         | 実績 25件  | ホームページを活用した受注の拡大を図った。                  |
| ⑪ 人手不足分野の人員確保による就業拡大<br>【総務部会】                        | シルバーだよりはむら1月号にて、人手不足分野を特集した会員募集記事を掲載し、全戸配布を行った。（広報はむら1月1日号と同時配布）  | 人手不足分野の人員供給体制を確保し、就業の拡大を図った。           |
| ⑫ パソコン教室等の各種教室のPRの強化<br>【広報部会】                        | パソコン教室等の各種教室について、シルバーだよりはむら（8月号 全戸配布）、ホームページ等で事業PRを行った。   | センターHP等に各種教室の紹介記事を掲載し、受講者増加のためのPRを行った。 |
| ⑬ 会員の携帯電話へのショートメッセージサービスの導入（追加）<br>【広報部会】             | ショートメッセージサービスを導入し、求人募集や会議通知を送信した。   | 経費及び事務負担の軽減を図った。                       |
| ⑭ 手芸品・編物品販売の促進（追加）<br>【手芸班・編物班】<br>【事務局】              | チューリップ祭りの開催中止等による手芸品・編物品売上減の対策として、センター相談室にて、11月18日～1月31日までセールを行った。  | 手芸品・編物品販売の促進を図った。                      |



## (2) リサイクル事業

羽村市のごみの減量及び再使用に関する市民意識の高揚を図るとともに、会員の就業の場を提供しました。

| 事業名                  | 実施結果  | 備考                                     |
|----------------------|---|--|
| リサイクルショップ「トコトン工房」の充実 | 販売点数 2,974 点<br>(R2 3,060 点)<br>売上金 1,077,500 円<br>(R2 1,169,850 円) | 新型コロナウイルス感染拡大防止等により、4月27日～5月31日は休業とした。 |

## (3) 自主事業

会員の持つ知識や経験を活かした自主事業を実施しました。

| 事業名       | 実施結果  | 備考  |
|-----------|---|---|
| ① パソコン教室  | 受講者 延168名<br>(R2 247名)<br>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月28日～5月31日、2月は中止とした。               | 市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。 |
| ② 生花教室    | 受講者 延104名<br>(R2 129名)<br>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月・1月・2月・3月は中止とした。                  | 市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。 |
| ③ 学習教室    | 受講者 延38名<br>(R2 78名)<br>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月・3月は中止とした。                          | 市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。 |
| ④ 着付け教室   | 受講者 延30名<br>(R2 33名)<br>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月・2月・3月は中止とした。                       | 市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。 |
| ⑤ 初級英会話教室 | 受講者 延50名<br>(R2 42名)<br>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月・2月・3月は中止とした。(2月～3月実施分は動画によるリモート学習) | 市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。 |

| 事業名                  | 実施結果  | 備考  |
|----------------------|---|---|
| ⑥ 上級英会話教室            | 受講者 延88名<br>(R2 61名)<br>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月・2月・3月は中止とした。(2月～3月実施分は動画によるリモート学習) | 市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。 |
| ⑦ 新たな教室の検討<br>【事業部会】 | センター独自事業の「スマートフォン教室」開講を目指し、デジタル活用支援推進事業を活用した「初心者向けスマートフォン教室」を10月から12月にかけて実施した。    | センター独自事業の「スマートフォン教室」開講に向けた基盤を構築した。        |

### 3 安全就業の確立

会員が健康で安全に就業できるよう、就業中の事故或いは就業途上における交通事故等の防止を図るため、安全対策を推進しました。

#### (1) 安全管理体制

| 事業名                                 | 実施結果  | 備考                          |
|-------------------------------------|---|-----------------------------|
| ① 安全・適正就業推進委員会の開催<br>【安全・適正就業推進委員会】 | 7月14日、9月16日、12月16日、1月14日、2月17日（書面会議） 年5回開催                            | 安全就業の方針の検討や対策、適正就業について協議した。 |
| ② 安全対策基本計画の策定<br>【安全・適正就業推進委員会】     | 安全・適正就業推進委員会において、検討を行い策定した。   | 安全・適正就業の推進を図った。             |
| ③ 財団等の安全対策会議との連携<br>【安全・適正就業推進委員会】  | 財団発行の熱中症予防・茶毒蛾・蜂の注意チラシを全会員に配布（6月）したほか、財団安全パトロール指導員による巡回指導があった。（1月11日） | 東京しごと財団との安全対策の連携を図った。       |

#### (2) 事故防止措置、安全教育、安全意識・適正就業の普及啓発

| 事業名   | 実施結果  | 備考                      |
|---|---|-------------------------|
| ① 「安全就業基準」「安全10ヶ条+1」「交通ルール遵守」の周知・徹底<br>【安全・適正就業推進委員会】 | 新入会員研修会において、安全就業基準(会員のしおり)を配布するとともに安全・適正就業巡回で周知・徹底を図った。また、シルバーだよりはむら(5月号)にて、自転車交通安全に関する記事を掲載したほか、「安全10ヶ条+1」のクアファイルを総会資料に同封して配布した。(6月) | 会員への「安全就業基準」の遵守の徹底を図った。 |

| 事業名  | 実施結果   | 備考  |
|--|--|---|
| ② 事故の検証及び全会員へのフィードバック<br>【安全・適正就業推進委員会】              | 事故の4M分析を行った。また、シルバーだよりはむらや事務局だよりで事故情報を周知し、再発防止を図った。  | 事故の4M分析を行い、事故情報及び安全就業基準との関連・原因を会員で共有化することにより、再発の防止を図った。                       |
| ③ SOSカードの携帯の徹底<br>【安全・適正就業推進委員会】                     | 新入会員研修会時にSOSカードを配布し、安全・適正就業巡回で周知及び携帯の徹底を図った。また、事務局だより(1月号)にて、SOSカードに関する記事を掲載した。                                | 就業中や就業途上での事故や病気の際の迅速な対応につなげるとともに、作業前の点検事項や就業前に自身の体調を把握し、事故の未然防止及び健康意識の増進を図った。 |
| ④ 運転業務に関する安全就業基準の徹底<br>【安全・適正就業推進委員会】                | 車両運転者に対し、運転前の健康状態の確認を随時行った。また、事務局だより(4月・8月号)にて、交通安全の周知をした。   | 車両運転を伴う作業を行う会員に対し、安全運転の推進を図った。  |
| ⑤ 安全大会実施の検討<br>【安全・適正就業推進委員会】                        | 他センターの実施内容を参考に検討した結果、既存事業の内容と重複しているため、大会としては実施しないこととした。  |   |
| ⑥ 受注及び契約時における就業現場の安全確認<br>【安全・適正就業推進委員会】             | 就業会員や担当職員が新規就業契約時に確認を行った。また、公共の継続受託作業を中心に作業マニュアルを整備し、会員交代時に危険個所等の引継ぎができるようにした。                                 | 就業現場に潜む危険個所を事前に確認することで、事故を防ぎ、危険を伴う可能性が高い作業については受注しないよう努めた。                    |
| ⑦ 作業の受注量制限や休業日・予備日の設定の検討<br>【安全・適正就業推進委員会】           | 熱中症対策として、最高気温35度以上・暑さ指数31度以上で作業を中止するとともに、7月及び8月の作業は原則午前中のみとした。(植木班・除草班)また、作業会員に熱中症計を配布した。                      | 過剰な受注による就業で、会員の体調管理が困難になることを防いだ。  |
| ⑧ 現センター車両(安全装置非搭載車両)から安全装置搭載車両への更新<br>【安全・適正就業推進委員会】 | 安全装置未設置の車両を安全装置付き新車両へリース契約により切替えた。(5台切換)また、安全装置未設置の車両に安全装置を設置(安全装置の後付け)した。(1台)                                 | 現センター車両を安全装置搭載車両へ計画的に更新し、事故の未然防止を図った。   |
| ⑨ 市が実施する体力測定の参加奨励<br>【安全・適正就業推進委員会】                  | 新型コロナウイルス感染対策による規模縮小のため、代替案として希望者に羽村市介護予防体操のDVDを配布した。(5月)<br>また、事務局だよりにてイスを使った筋トレ(10月号)及び市主催ミニ体力測定を紹介した(11月号)。 | 身体機能の低下を自覚し、事故の未然防止を図った。  |

| 事業名   | 実施結果   | 備考   |
|---|--|--|
| ⑩ 市が実施する健康診断等の参加奨励<br>【安全・適正就業推進委員会】            | 事務局だより（9月号）にて周知を行った。   | 自主的な健康診断の受診を奨励して、健康意識の増進を図った。  |
| ⑪ 安全標語の募集<br>【安全・適正就業推進委員会】                     | 安全標語を募集した。（11月）応募人数14人 応募数40件  | 優秀作品を毎月の安全目標に設定し、センター内に掲示するとともに、配分金明細書にも同封し、安全就業の啓発に努めた。               |
| ⑫ 「ヒヤリハット」体験の募集<br>【安全・適正就業推進委員会】               | ヒヤリハット体験を募集した。（7月）報告件数6件   | 危険個所の情報を共有して事故の未然防止を図った。   |
| ⑬ 安全就業強化月間（7月）の設定<br>【安全・適正就業推進委員会】             | 委員会において、取り組み内容の検討を行い、7月の強化月間で反映した。   | 事故ゼロを目指すとともに、強化月間中における会員の安全意識の高揚を図った。                                  |
| ⑭ 「安全宣言」の実施<br>【安全・適正就業推進委員会】                   | 安全就業強化月間朝礼で唱和した。7月1日 参加者18名  | 会員同士の安全意識の高揚を図った。  |
| ⑮ 各種講習会等の開催等<br>【安全・適正就業推進委員会】                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険予知訓練<br/>11月4日 参加者14名</li> <li>・自転車交通安全講習会<br/>12月7日 参加者14名</li> </ul> ※熱中症対策講習会及び転倒予防講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。 | 各種安全講習会を開催し、安全意識の高揚を図った。   |
| ⑯ 安全・適正就業巡回の実施<br>【安全・適正就業推進委員会】                | 10月6日、11月29日、12月10日、1月19日、実施   | 就業現場を巡回し、安全意識の啓発と適正就業の点検を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～9月、2月、3月については中止とした。 |
| ⑰ 安全・適正就業推進委員会だよりの発行による啓発<br>【安全・適正就業推進委員会】     | シルバーだよりはむら及び事務局だよりを活用し周知した。  | 会員に安全・適正就業の情報を提供し、意識の徹底を図った。   |
| ⑱ 自転車損害賠償保険への加入状況の確認及び制度の周知徹底<br>【安全・適正就業推進委員会】 | 派遣就業会員に対して自転車保険加入の確認を行った。<br>シルバーだよりはむら（5月号）、事務局だより（5月・1月号）を活用し、制度の周知徹底を図るとともに、新入会員に対し入会時に自転車保険加入義務の説明・周知をした。  | 自転車損害賠償保険等の加入義務化に伴い、制度の周知徹底を図ります。                                      |

## 4 就業の改善

### (1) 未就業会員の解消

公共団体、民間企業、家庭及び関係団体等に、高齢者の就業機会の確保についての理解を求めるとともに、新入会員研修及び就業相談の充実など会員の就業率向上を図るため次の活動を行いました。

| 事業名   | 実施結果  | 備考                                     |
|---|---|--|
| ① 会員のメールアドレスに就業情報を送信するシステムの活用（再掲）<br>【広報部会】 | 会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載し、未就業会員の解消に努めた。                                      | 登録者数 112 名                             |
| ② ワークシェアリングの推進<br>【事業部会】                    | 広報配布会員への意向調査を実施した。意向調査結果を踏まえ、ワークシェアリングを進めることとした。                                    | より多くの会員に就業機会を提供できるよう、ワークシェアリングを推進していく。 |
| ③ 就業基準の徹底<br>【事業部会】                         | 就業期間満了先一覧を継続就業希望会員に配布した。<br>・7月30日～8月6日<br>資料配布会員 13名<br>・1月24日～1月28日<br>資料配布会員 19名 | 就業基準を徹底し、長期就業の是正と未就業会員の解消を図った。         |

### (2) 就業会員研修（派遣会員教育訓練）等の実施

| 事業名   | 実施結果   | 備考                                   |
|---|--|--------------------------------------|
| ① 財団主催の各種講習会情報を提供<br>【事業部会】                 | 新入会員研修会や事務局だよりで、財団が実施する「就業支援講習」について周知した。                 | 会員の技能の向上を図った。                        |
| ② 清掃作業を行っている会員向けの清掃研修<br>【事業部会】             | 実施なし   | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。            |
| ③ 会員の作業の質の維持・向上を図るための研修・講習会の実施の検討<br>【事業部会】 | 前任者からスムーズに作業を引継ぎ、作業の質を維持できるよう、公共の継続受託作業を中心に作業マニュアルを整備した。 | 整備した作業マニュアルを活用し、前任者からのスムーズな引継ぎに役立てた。 |
| ④ 技能講習会の実施<br>【事業部会】                        | 実施なし<br>※「植木剪定講習会」（対象：60歳以上の市民）                          | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。            |

| 事業名                   | 実施結果                      | 備考   |
|-----------------------|---------------------------|--|
| ⑤ ビジネスマナー研修<br>【事業部会】 | 実施なし                      | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。  |
| ⑥ 新入会員研修<br>【事業部会】    | 毎月1回(原則理事会翌日)開催<br>出席者42名 | センターの事業趣旨、会員の心得、ボランティア活動等についての研修を行った。<br>※新型コロナウイルス感染防止対策のため、4月・5月・7月・8月・9月・1月・2月は中止とした。 |

### (3) 派遣会員教育訓練の実施

| 事業名                      | 実施結果                 | 備考                        |
|--------------------------|----------------------|---------------------------|
| 派遣会員向けの教育訓練の実施<br>【事業部会】 | 実施なし<br>※「ビジネスマナー研修」 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。 |

### (4) 顧客満足度の向上

| 事業名              | 実施結果  | 備考             |
|------------------|---|----------------|
| 苦情等の共有<br>【事業部会】 | 全会員へ周知する苦情は無かったが、今後必要に応じて事務局だより等で苦情内容等を会員へ周知し、再発防止を図ることとした。 | お客様の満足度の向上を図る。 |

### (5) 就業のミスマッチ

| 事業名                    | 実施結果                            | 備考                        |
|------------------------|---------------------------------|---------------------------|
| 技能講習会の実施(再掲)<br>【事業部会】 | 実施なし<br>※「植木剪定講習会」(対象:60歳以上の市民) | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。 |

## 5 適正就業の推進

| 事業名                           | 実施結果  | 備考                        |
|-------------------------------|---|---------------------------|
| ① 適正就業ガイドラインに沿った事業運営<br>【事務局】 | 「適正就業ガイドライン」に沿って、就業形態(請負・派遣)や、月あたりの就業日数及び就業時間を考慮し、事業運営を行った。 | 適正就業ガイドラインを遵守し、適正就業を推進した。 |

| 事業名  | 実施結果   | 備考                           |
|--|--|------------------------------|
| ② 会員、発注者に対し、適正就業ガイドラインの周知<br>【安全・適正就業推進委員会】<br>【事務局】 | 「適正就業ガイドライン」を新規発注者には受注時に、新入会員へは入会説明会時に配布し、適正就業の理解を求め、適正就業を推進した。                    | 会員・発注者へ適正就業の理解を求め、適正就業を推進した。 |
| ③ 長期就業の解消のための、就業期間が満了となる就業先の全会員への情報提供<br>【事業部会】      | 年2回(7月30日～8月6日、1月24日～1月28日)、就業期間が満了となる就業先一覧を会員専用ページ「Smile to Smile」に掲載の他、事務所で公開した。 | 長期就業を是正し、適正就業を推進した。          |

## 6 社会奉仕等の推進

ボランティア活動を通じ、地域社会に貢献するとともに、会員の生きがいの充実やセンターの認知度と評価を高めました。

| 事業名                                 | 実施結果   | 備考  |
|-------------------------------------|--|---|
| ① ボランティア活動の推進(追加)<br>【総務部会】         | 入会説明会の面談の際に、いずれかのボランティア活動への参加確認を行うとともに、新入会員研修会の際に、活動のPRを行った。                       | ボランティア活動への参加促進を図った。   |
| ② 市内清掃ボランティア活動の実施<br>【総務部会】         | 10月20日実施<br>参加者135名  | 6月実施分については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。10月は東京しごと財団が行う「広報活動強調月間」に合わせて実施した。  |
| ③ 市事業等へのボランティア協力<br>【総務部会】          | 「放課後子ども教室」へのボランティア登録を推進した。   | 市の実施する「放課後子ども教室」ボランティア募集チラシを入会説明会の際に配布した。   |
| ④ 市内小学校通学児童見守りボランティア活動の実施<br>【総務部会】 | 会員による小学校通学児童見守りボランティア活動を地域班単位で行った。<br>(週1回～5回)<br>羽村東小学校・羽村西小学校・富士見小学校・栄小学校・小作台小学校 | ◎各地域班の活動実績<br>実人員 延人員<br>1班 18名 328名<br>2班 11名 216名<br>3班 3名 66名<br>4班 10名 927名<br>5班 16名 184名<br>6班 10名 145名 |

| 事業名                                     | 実施結果  | 備考                        |
|---|---|---------------------------|
| ⑤ 「ほっとカフェ」の実施<br>【女性部会】                 | 実施なし  | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。 |
| ⑥ 保育園訪問ボランティア活動の実施<br>【女性部会】            | 実施なし  | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。 |
| ⑦ 各地域班が実施するボランティア活動についての情報共有化<br>【総務部会】 | 各地域班のボランティア活動の取り組み状況についてのアンケートを実施し、情報共有を図る予定であったが、地域班長会議が中止となったため、実施できなかった。 |                           |

## 7 財源の確保

補助金の確保、自主財源確保のための受注拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営を推進しました。

| 事業名   | 実施結果  | 備考   |
|---|---|--|
| ① 国、都、市への補助金獲得のための要望<br>【事務局】                         | 国・都・市へ補助金の申請を行った。   | 安定した財政運営を推進するため、各種補助金の拡充及び継続を要望した。             |
| ② 自主財源確保のための受注の拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営の推進<br>【事務局】  | 節電の実施、内部印刷の推進や自動車リース契約の見直しを行い経費節減に努めた。  | より一層の経費節減に努めた。                                 |
| ③ 派遣事業拡大によるサポート補助金及び事務委任手数料の確保<br>【事務局】               | 派遣事業実施に係る事務委任手数料収入を得た。  | サポート補助金を最大限に活用し、派遣事業を拡大することで、事務委任手数料収入の増加を図った。 |
| ④ 自動車安全装置支援事業助成金の確保（追加）<br>【事務局】                      | 安全装置未設置の車両を安全装置付き新車両へリース契約により切替えた。（令和3年度5台切替 延11台）<br>また、安全装置未設置の車両に安全装置を設置（安全装置の後付け）した。（1台）<br>延12台分の助成金を確保した。 |  |
| ⑤ 情報通信利用促進支援事業費（利用者向けデジタル活用支援推進事業）補助金の確保（追加）<br>【事務局】 | デジタル活用支援推進事業を活用した「初心者向けスマートフォン教室」の実施にかかる経費所要額を確保した。   |  |



## 8 組織の充実

理事会を中心に公益法人としての組織運営、財政基盤の確保やセンターにおける就業の適正化を推進するため専門部会等の活動に対する協力、助言等を行い、公益法人としての運営体制の充実に努めました。

| 事業名   | 実施結果   | 備考   |
|---|--|--|
| ① 設立40周年事業の実施<br>【事務局】                      | 定時総会終了後、ゆとろぎ小ホールにて、「設立40周年記念表彰式」を行った。(6/23)<br>また、抽選会を実施(10/27)し、40周年記念号(シルバーだよりはむら10月号)を発行した。 |  |
| ② 定時総会                                      | 令和3年6月23日開催<br>ゆとろぎ小ホール<br>出席者495名 出席率78.4%<br>(出席者29名、委任状による代理出席及び議決権行使書提出者466名)              | 令和2年4月1日から令和3年3月31日までの計算書類等の承認の件について決議した。    |
| ③ 理事会                                       | 年13回開催(書面決議含む)   | 毎月理事会を開催し、センター運営や業務執行等について審議した。              |
| ④ 総務・事業・広報部会                                | 随時開催   | センターの事業運営を効果的に推進するため、各部会を開催した。               |
| ⑤ 女性部会                                      | 年4回開催  | 女性会員増強・就業拡大に関すること及び技能向上、文化活動に関すること等について検討した。 |
| ⑥ 安全・適正就業推進委員会の開催<br>【安全・適正就業推進委員会】<br>(再掲) | 年5回開催  | 安全就業の方針の検討や対策、適正就業について協議した。                  |
| ⑦ 就業開拓委員会(再掲)                               | 年3回開催  | 会員の多様な働き方に対応した就業先の確保とシルバー事業の拡大について検討した。      |
| ⑧ 中期計画推進委員会                                 | 年1回開催(書面会議)  | 中期計画の進捗状況及び計画内容等について検討を行った。                  |

| 事業名  | 実施結果  | 備考                                     |
|--|---|--|
| ⑨ 地域班連絡員会議                                 | 実施なし  | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。              |
| ⑩ 地域班長会議                                   | 年2回開催（書面会議含む）   | 事業運営の情報伝達や要望・意見交換を行った。                 |
| ⑪ 地域班への支援<br>【事務局】                         | 地域班助成金と通学児童見守りボランティア助成金を各地域班に交付した。（6月）                                  | 地域班活動を支援することにより、地域班活動の活性化を図った。         |
| ⑫ 会員の親睦、交流の推進<br>【総務部会】                    | 実施なし  | シルバーはむらふれあい祭りが中止となったため、本事業の実施も中止とした。   |
| ⑬ 班体制を含めた地域班のあり方の検討<br>【事務局】               | 新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、活動可能な状態になった後に、地域班役員の負担軽減等に努めるべく地域班のあり方の検討していくこととした。 | 地域班の再編成等の検討を行い、より機動的に柔軟に動ける地域班体制を推進した。 |
| ⑭ 職員の人材育成のための目標管理制度の実施<br>【事務局】            | 目標管理制度を実施した。  | 目標管理制度を活用し、人材育成を図った。                   |
| ⑮ 研修会等への参加による職員の能力向上<br>【事務局】              | 財団主催の各職層研修及び専門研修を受講し、能力向上を図った。  | 職員の資質向上を図った。                           |
| ⑯ 派遣事業拡大に伴う、産業医及び衛生管理者、安全衛生委員会の設置<br>【事務局】 | 派遣会員数 39 名のため未設置。<br>（派遣会員数 50 人以上で要設置）                                 | 派遣会員数が 50 名以上となった場合、設置する。              |
| ⑰ 会員参画の運営                                  | 事務局だより（10月号）に提案箱設置中の記事を写真入りで掲載し、会員からの企画提案を募集した。（提案0件）                   |  |